

村崎 秀 富合町長

本日は熊本市と富合町の合併協定書の調印式にあたりまして、一言御挨拶を申し述べたいと思います。

本日は公私ともに御忙しい中に、潮谷熊本県知事さんをはじめ県の関係の皆さん、それに両市町の協議会の委員さん、議会の議員の皆さん方、御隣席いただきましてこのように盛大な調印式ができましたことを心からお慶びするところでございます。ただ今合併協定書に署名させていただきましたが、ここに至るまでの関係各位の努力、または御協力に対して、深甚なる敬意を表したいと思います。私も感慨無量の気持ちでいっぱいでございます。



顧みますと富合町におきましては、これまで合併をめぐる多くの議論が交わされてきました。住民投票、町議会の議員の解散選挙等、合併論議の混迷の中に、議会におかれましては、平成18年6月に住民代表による合併検討委員会が設置され、将来に向かって財政的なこと、商工業、農業、福祉等にかかわること等、多方面にわたる議論がされ、さらに合併の方向についても検討され、熊本市との合併を進めていくことが望ましいという答申を私は受けました。その答申内容を受けまして、平成18年11月に合併協議会の設置議案を可決され、さらに平成19年1月に法定協議会を設置し、その後は経過報告のとおり協議を行い、調印式を迎えることができました。協議会におきましては、上下水道、広域連合や都市計画の問題等、熊本市にお願いする点が多く、特に合併特例区の設置等、市に御配慮いただいたことに感謝しているところでございます。

協議の調整が整うと共に各事業を盛り込んだ素晴らしい新市基本計画ができましたことに対して、心から御礼を申し上げたいと思います。富合町は農業を主産業とし、豊かな水と緑に恵まれた明るく豊かな住みよい町でありますし、九州新幹線総合車輛基地が建設される等、都市化が進む地域でもありますので、今後熊本市の発展、さらに政令市に向けて大きく寄与するものであると、私は考えておるところでございます。

町では、合併に対する住民の不安や疑問等、今だに残っておりますが、丁寧に説明をし、報告を行い、住民の方にも御理解いただくように努力してまいりたいと考えております。今後、来年10月6日の合併に向けて全力を持って、望む所存でございますので関係各位のさらなる御協力と御指導、御鞭撻お願い申し上げたいと思っております。

そして、特に先ほど市長にも申し上げましたとおり、私たちの富合町の合併を第1歩として政令指定都市に向かって、州都を目指していただきたい。それが私たちの望むところでございますので、この調印式を契機に、熊本市が向かう記念すべき第1歩となりますように心から祈念申し上げまして、御挨拶といたします。本日は誠にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。大変ありがとうございました。